

ゼロカーボンを考える際の大事な視点とは？

ゼロカーボンを考えるうえで大事な視点を、枝廣先生よりお話しいただきました。



Check2! ーゼロカーボンを考えるための視点ー

①気候変動の原因は、人為的に排出するCO₂にあり!

CO₂には、木炭などを燃やすなど植物由来のもので排出するCO₂と、化石燃料などを燃やして人為的に排出するCO₂があります。植物由来のCO₂は、もともと植物が成長する際に大気中から吸収したCO₂をそのまま大気中に排出するので、CO₂の排出量は実質プラスマイナスゼロとなります。一方で化石燃料など人為的に排出するCO₂は、吸収していない分を排出するので、CO₂の排出はそのままプラスになってしまいます。この人為的に排出するCO₂を積極的に削減していくことが重要です。

②「エコリュックサック」を考えよう!

ボールペンや野菜など、私たちが普段使ったり食べたりしているものは、実は製造や運搬の過程でCO₂が発生しています。このことを、実際には見えないCO₂をリュックのように背負っていることから、「エコリュックサック」と呼んでいます。

例えばジャガイモで考えると、下川産のジャガイモと外国産のジャガイモでは、運搬の際に発生するCO₂にとても大きな差があります。

ゼロカーボンを考える際は、このように「見えない」CO₂も考えていくことが重要です。



次回のゼロカーボン推進町民勉強会は？

次回のゼロカーボン推進町民勉強会は、11月末に開催予定です。第2回に引き続き、ゼロカーボンを実現するためにできることを話し合いながら、学びを深めていく場にしたいと考えています。

下川町のゼロカーボンについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。皆さんのご参加をお待ちしております。

あづがき

ゼロカーボン通信、ありがたい姿探検記のコラボ記事をお届けしました。町では今後もゼロカーボン勉強会を開催していきますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。それでは、来月のゼロカーボン通信、ありがたい姿探検記もお楽しみに！

※ページの都合上、今月号の「今日から実践ゼロカーボン」はお休みいたします。

充実版は公式noteへ



しもかわゼロカーボン通信
バックナンバーはこちら↓



今までしもかわゼロカーボン通信や、ありがたい姿探検記にて、ゼロカーボンを学べる場である「第1回ゼロカーボン推進町民勉強会」

前回のおさらい
ゼロカーボン通信
第1回ゼロカーボン推進町民勉強会
・気候変動の犯人はCO₂
・電子レンジで省エネと
時短クッキングをしよう
・ありたい姿探検記
第2回SDGs推進町民会議
・町の政策に当事者の声
を取り入れる工夫をする
・「2030年における
下川町のありたい姿」の
進捗を振り返ろう

第2回ゼロカーボン推進町民勉強会
(10月11日開催)

第2回となるゼロカーボン推進町民勉強会を10月11日に開催し、会場となったハピネスには30名を超える参加者が集まりました。

今回も枝廣淳子先生をお招きし、第1回の勉強会の振り返りも行いながら、ゼロカーボンの実現に向け、何ができるかを参加者同士で話し合いました。

第1回勉強会の
内容はこちらから↓

Check1! ーゼロカーボンの実現に向け何ができるかー
話し合いで出たアイデアー

①森林・木の利用について

- ・家のまわりに木を植える!
- ・薪ストーブを使ってみる!
- ・木の枝葉を有効活用する!



②節約・再生可能エネルギーについて

- ・使っていないコンセントを抜く!
- ・ガスをできるだけ使わずに調理する!
- ・ソーラーパネルで発電!

③「暮らし」や「もの」の消費について

- ・ものを大事に使う、使い切る!
- ・食品ロスをなくす!
- ・プラスチック製品以外のものを選ぶ(木、紙など)

④自動車・移動手段について

- ・車の利用を控える!
- ・カーシェアリングをする!

⑤感想など

- ・自分から第1歩を踏み出すことが大事!
- ・不便に感じず、楽しめることをやってみよう!



第18弾

ありがたい姿探検記



しもかわ
ゼロカーボン通信
VOL.5

お問い合わせ
政策推進課
412511 内線235

☆41251102

